コミュニティースクールまえばる

令和八年 十一月

えにし 縁

人をつなげる、心がつながる。

令和8年度 Vol.3

第３回　学校運営協議会

第3回学校運営協議会（令和8年10月1日開催）の内容を報告します。

発行・文責：
糸島市立前原小学校 学校運営協議会委員

今回は、こどもたちの安心の居場所「レインボールーム」の紹介や見学をはじめ、がんばっている学力・体力の様子、そして「地域のみんなでこどもたちをもっと応援しよう！」という温かい話し合いの様子をご紹介します！

校内にある安心の居場所「レインボールーム」

児童支援担当の稲岡先生が「レインボールーム」を紹介し、学校運営協議会委員で見学をしました。

【名前の由来は？】

多様性を認めながら、子どもたちが笑顔で過ごせるように、こどもたちの笑顔を取り戻すための部屋となるように、との想いを込めています。



【どんな場所？】

ちょっと学校に行きづらいなと感じるこどもたちが、教室復帰へのステップとして、自分のペースで安心して過ごしたり、人とのつながりを取り戻したりできる、温かい拠点です。

【どんなことをしているの？】

一人で静かに過ごしたり、みんなとトランプや図工、算数の勉強をしたり…。「今日はこれをしよう」と子どもが主役になって活動します。オンライン授業や、通級のサポートも行っています。

【嬉しいつながり】

保護者が一緒に過ごすこともできるため、保護者と先生の架け橋としても大切な役割を果たしています。

給食はいろんな子どもが一緒になって食べ、学年を越えた関係が生まれています。

【見学を終えて】

１日の目標を子ども自身が作成し、できたことには評価シールを貼ってもらっていました。小さい成功体験の積み重ね、スモールステップが感じられるとても明るく楽しい場所でした。

小学校だけでは予算、人手が足りないところが課題とのことで、地域としてもできるサポートを考えていきたいです。

学校評価・全国学力調査のいま

〇前期学校自己評価

アンケートでは、「学校は楽しいところ！」と感じている保護者や子どもたちがとても多いことが分かりました。家で学校での楽しい出来事をたくさんお話ししてくれているようです。

学校が把握しているいじめや不登校の状況についても共有し、小さなサインも見逃さないよう、アンケートや相談体制をしっかりと整えて丁寧に向き合っています。

〇全国学力・学習状況調査（6 年生）

国語では自分の考えを文章でしっかりと書く力が全国平均を上回って発揮されました。また、「学校が楽しい」「友達関係に満足している」という温かい回答がたくさん集まりました。

＊学校から＊

前期学校自己評価、全国学力・学習状況調査結果については、前原小学校ホームページに掲載しています。

地域の皆さんの熱いアイデア！「もっと一緒にワクワクしよう」

後半の話し合いでは、地域と学校のつながりについて大盛り上がり！

【地域の〇〇名人」と遊ぼう！】

農業、工作、運動など、得意な技を持った地域の方々と子どもたちが一緒に活動できる機会をもっと作っていきたいね、と意見が交わされました。

【小学校から中学校へ】

地域のみんなで見守る活動を、小学校だけでなく中学校へと繋げていけるような仕組みづくりについても期待が寄せられました。

【地域の人のことを学び、地域の人とつながりを深める】

前期には 6 年生へ向けて、また夏休み期間中には先生方へ向けて、学校運営協議委員の地域でのそれぞれの活動や役割を説明しました。その場で新しい発見も生まれたことから、「この人がどんな大人で、どうして学校に来ているのか？」をきちんと理解して関わりを持つことが、子どもと学校と地域のつながりをより深くするね、との感想も寄せられました。

大感動の後日談、つながりが花開いた「まえばるショータイム」

10 月 25 日のぬくもり文化祭の当日に、校長先生のお話にもあった「まえばるショータイム」が開催され、全児童が今年の学習成果を元気に発表しました！

〇1 年生「レトロランドでむかしあそび」

けん玉や竹馬など、地域のシニアクラブの皆さんから教えてもらった昔遊びの楽しさや、「できるようになって嬉しかった！」という喜び、そして優しく教えてくれた感謝の気持ちを力いっぱい発表しました。



〇4 年生「SDGs について」：

「ハマボウを守る会」の皆さんから環境保全について学んだ成果を発表！その実践として「服の力プロジェクト（リユース会）」を実施した報告がなされました。

地域の皆さんとの関わりが子供たちの学びにしっかり活かされ、温かい「絆」として実を結んでいることが実感できる、素晴らしい 1 日となりました！